

VOL.14

# 社会福祉について調べよう！

2015.1 更新

## ○福祉のまちづくりとは…？

福祉は幸福を意味するから、福祉のまちづくりは「幸福のまちづくり」ともいえる。だから、お年寄りや障害のある人や子どもはもちろん、年齢や性別や障害にかかわらず、すべての人が個人として尊重され、生涯にわたって安全に安心して暮らし、社会参加できる「まち」をつくること。

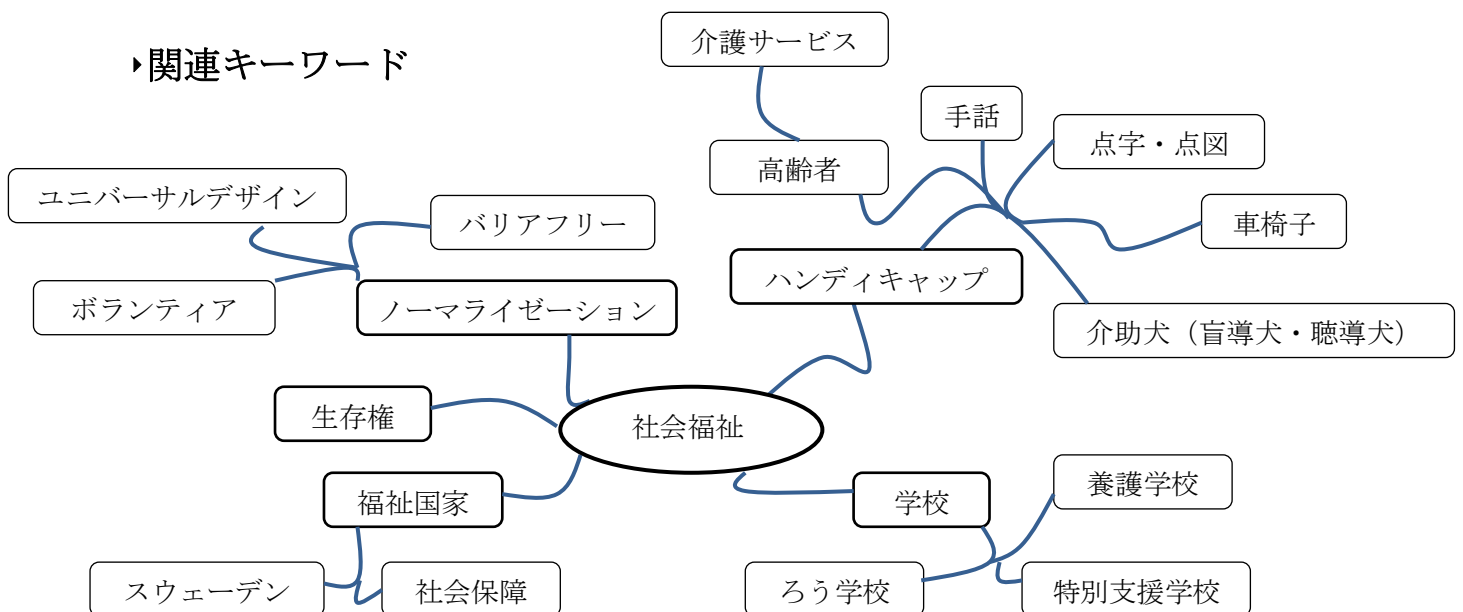
(参考：学習研究社『NEW ボランティア用語事典』より一部)

## ○概要を調べる \* 網掛けは児童コーナーの資料

- ・ Y200 or 03/R 『総合百科事典ポプラディア 9』 ポプラ社 [2002]  
→38 頁に「福祉」の項目あり。近現代史の中での福祉の捉え方の変遷や、近年の取り組みなどが簡潔にまとめられている。この項以外にも、「バリアフリー」の項も参考になる。
- ・ 25-7/R 『NEW ボランティア用語事典』 学習研究社 [2005] 【館内】  
→86 頁に「福祉のまちづくり」の項目あり。言葉の意味の他に、福祉運動の歴史やボランティアの具体的な例が挙げられている。

## ○詳しく調べる

### ▶ 関連キーワード



## ▶児童・YAコーナーで探す

【 25-7 社会福祉 ハンディキャップ 】【 Y237 福祉 】など

## ▶日本十進分類法（一般書）で探す

【 369 社会福祉 】【 369.27 障害者福祉 】

【 369.7 地域福祉 】

## ▶例えばこんな資料 \*網掛けは児童コーナーの資料

### 社会福祉の総論

- ・ **25-7** 『障害を知る本1 障害と私たちの社会』 茂木俊彦／大月書店 [1998]  
→絵や写真を多く使い、日本や世界の障がい者の話や福祉政策の話、障がい者にとって住みやすい社会について解説している。
- ・ **Y237** 『福祉ってなんだ』 古川孝順／岩波書店 [2008]  
→岩波ジュニア新書。社会福祉の概念から成り立ち、しくみや援助の種類などの社会福祉の基礎知識が書かれた本。やや硬い内容だが、重要部分には図解などを用いて理解しやすいように作られている。
- ・ **Y237** 『人を見捨てない国、スウェーデン』 三瓶恵子／岩波書店 [2013]  
→岩波ジュニア新書。福祉国家として有名なスウェーデンの社会福祉について、教育・家庭生活・働き方・こども達などの幅広い分野に渡って紹介した本。文体も読みやすく、「福祉国家」というものを具体的に知ることができる。

### 具体的な福祉について調べる

- ・ **Y237** 『みんなでつくるバリアフリー』 光野有次／岩波書店 [2005]  
→岩波ジュニア新書。近年の日本社会におけるバリアフリー化の対策の様子や、バリアフリー化が必要な人にとって、どのような点が「バリア」になっているのかというようなことが書かれた本。ユニバーサルデザイン商品開発の話なども書かれている。
- ・ **Y237** 『さわっておどろく！』 広瀬浩二郎・嶺重慎／岩波書店 [2012]  
→岩波ジュニア新書。視覚障害者とされる人々の生活を前向きに紹介し、彼らが親しんでいる点字と点画というものを紹介した本。ブラインドサッカーや暗闇体験ワークショップなど、興味をひかれる題材も取り上げられている。
- ・ **Y237** 『手話の世界を訪ねよう』 亀井伸孝／岩波書店 [2009]  
→岩波ジュニア新書。普段手話を使用している人たち（聴覚障がい者など）の世界を、著者が自らの体験を交えつつ紹介する本。各章の要所にはキーワードがまとめられており、章末には各章のまとめが書かれているなど、章ごとの理解を助けるように工夫されている。
- ・ **Y237** 『「障害者」と街で出会ったら』 もりすぐる／緑風出版 [2002]  
→「車椅子を利用しているのはどんな人ですか」「盲導犬ってどんな犬なんですか」といった素朴な疑問から、『障害』をもつ人が暮らしやすい街とは、どんなものなのでしょう。『通りすがり』に介助をする『意義』は何ですか』といったなかなか聞きづらい疑問まで、Q&A方式で書かれた本。

## 福祉に関する仕事について

- ・Y14 『なるには BOOKS 補巻9「福祉」で働く』 朝野恵子／ペリかん社 [2007]

→〇〇についての仕事、というように目的から職業名を調べることができ、それぞれの仕事の内容や実際に働く人の体験談ややりがいなどを紹介している本。興味を持った職業については、同じシリーズのそれぞれの職業ごとの本で調べることができる（出ていないものもあります）。

## ○関連団体

- ・カラーユニバーサルデザイン機構（千代田区外神田 1-1-5 昌平橋ビル 3F, 03-6206-0678）  
→色覚障害の人達にも使いやすい色使いのものを作る活動をしているNPO法人。

## ○プラス・ワン！ \*網掛けは児童コーナーの資料

### 障害者の伝記など

- ・Y93 朴 or 94 など『五体不満足』乙武洋匡／講談社 [2001]

→両手足がなく電動車椅子で生活をしている著者が、ほとんど健常者と同じ学級で小学校から大学入学までをすごした半生を明るく楽しくつづった自伝。読んでいるうちに著者が障害者であることを忘れてしまうほど。

- ・949.8 or 25-7 『レーナ・マリア』レーナ・マリア／小学館 [1998]

→生まれつき障害がありながら、3歳で始めた水泳でパラリンピックのスウェーデン代表となった著者の自伝。ストックホルム音楽大学を卒業し、1998年の長野パラリンピックの開会式で歌ったことでも知られる。